

## 約束



伊藤忠商事会長 岡藤正広  
おかふじ まさひろ

社長に就任して以来、私は日ごろから自分の感じる思いを社内イントラに公開して社員と共有してきた。もう150回ほどになる。

メッセージを发出すると、それを見た社員から意見や励ましの言葉をもらうことがある。

そのなかで、私には生涯忘れることができないある社員とのやりとりがある。

時には私のところにあいさつに来てくれると。私は胸が熱くなった。

私は本人の了解を取って、彼のメールをイントラに掲載し、彼が一日も早く復帰できるように応援しようと呼びかけた。

しかし、その2週間後に彼は亡くなってしまった。私は告別式会場で遺影を前に彼の無念を思い、涙を禁じ得なかった。昔、大病を

2017年2月、ある著名な経済誌に、社員が「幸せな会社」ランキングが掲載された。当社は対象725社中、第2位にランキン

グされていた。私はかねてから、社員の幸せは、社員一人ひとりが活力を持って日々職務にまい進できることである、と考えてきた

ことからこの記事の掲載はうれしく、社内イントラに同記事を添えて、これからも一層社員が働きがいを持って仕事に打ち込める環境

をつくっていききたいとのメッセージを出した。それを見た社員H君からメールをもらった。

H君は長期間がんで療養している社員だった。「充実した会社の制度や、自分を支え

続けてくれた会社の上司、同僚。自分は本当に素晴らしい会社に勤めることができて感無

量だ。伊藤忠は(2位ではなく)、自分にとって圧倒的に日本一良い会社だ。病気を克服し

てもう一度会社に戻りたい」と。そしてその

思い、希望を失いかけていた自分を思い出していた。私は手を合わせながら、当社でがんばる社員が、仮に重い病気になっても物心

ともに皆で支えていくことができるような会社をつくろうと心に決めた。そして、必ずや、

H君が言ってくれたように当社を「日本一良い会社」にしようと誓った。これは私と彼との約束だ。早速、がんの予防、治療、仕事との

共生に関する総合政策をまとめ、「がんに負けるな」とタイトルして社員に公開した。

国立がん研究センターとも提携した。社員は一連のストーリーを共有しているため、皆心

から賛同してくれた。

私にとって「日本一良い会社」の持つ意味は大きい。いつか彼の墓前で「約束は果たしたで」と報告したいと願っている。